

市川市塩浜 1 丁目海岸再生事業について
〔環境調査計画(案)〕

1 目的

市川市塩浜 1 丁目海岸において生物調査等を行い，護岸改修の基礎資料とするとともに，護岸改修工事が当該海岸に生育・生息する海生生物に与える影響について，予測・評価を行うことを目的とする。

2 現地調査計画

・調査期間：四季（春季・夏季・秋季・冬季）

調査項目		調査手法等	数量等	[参考]H16 環境基礎調査 2,3 丁目
海生生物調査	潮間帯生物	方形枠による枠取り定量採取	採取 6 地点(護岸壁面高・中・低潮帯)種の同定，種別個体数(湿重量)計数等	(4 地点/測線) × 5 測線
	底生生物	砂泥底上の定量採取	採取 8 地点(4 地点/測線) × 2 測線種の同定，種別個体数(湿重量)計数等	-
		潜水土による潜水目視観察，写真撮影	観察 2 測線(延長 700m / 測線) 観察項目 - 底質，海草藻類，貝類，甲殻類，底生魚等	5 測線 (延長 100 ~ 700m / 測線)
底質調査	粒度試験：ふるい分け及び沈降試験(JIS A1204)	採取 8 地点(4 地点/測線) × 2 測線	(3 地点/測線) × 5 測線	

3 調査結果の整理

当該海岸における海生生物相，重要種や外来生物の生息状況について，海生生物の生息分布と地形・底質等の生息基盤との関係から当該海岸のハビタット区分（生物の生育・生息場）ごとに整理を行う。

4 環境影響の予測・評価

(1) 環境影響要因の整理

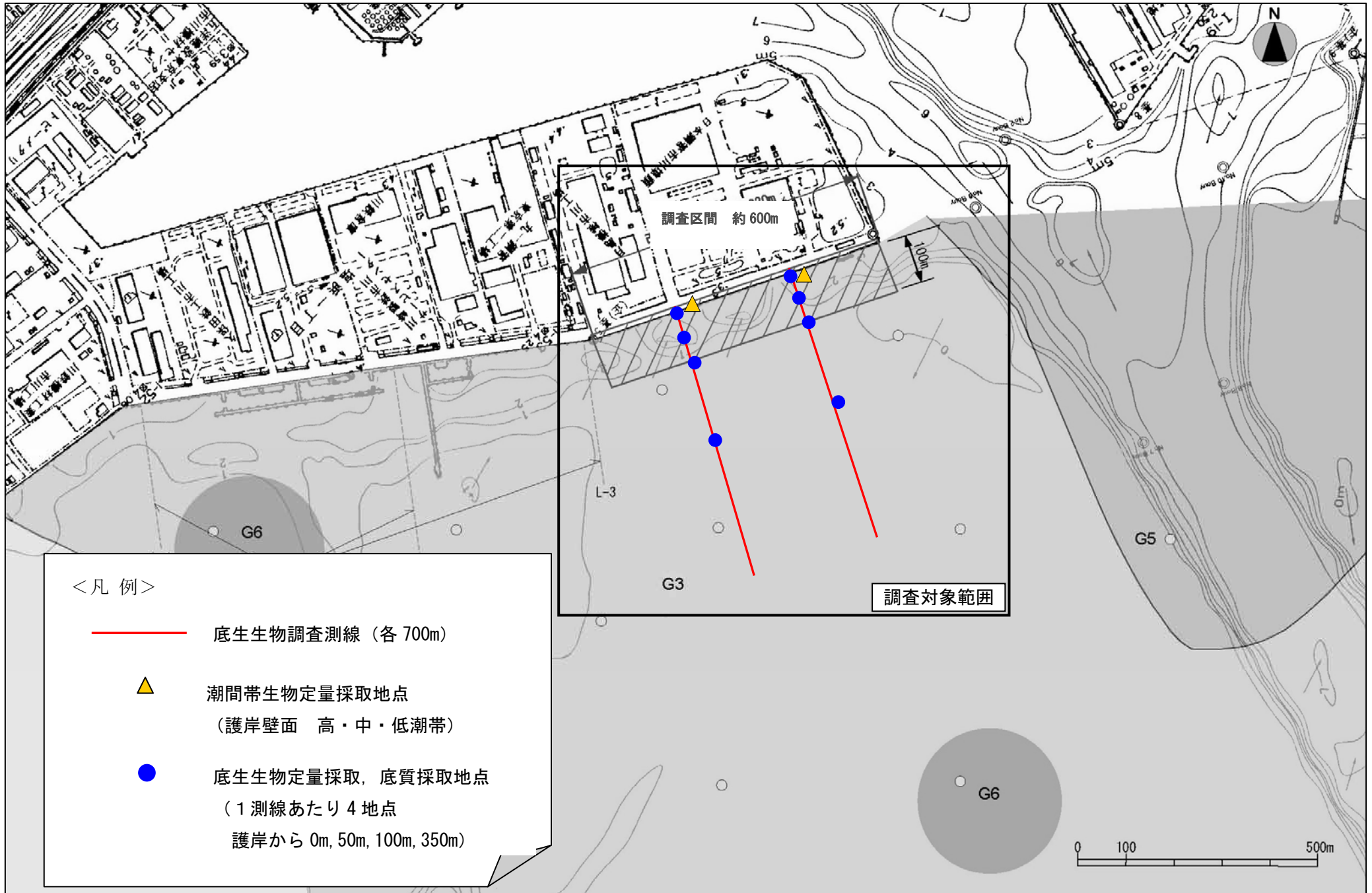
工事の実施時，改修後の護岸の供用時ごとに，事業の実施により想定される環境影響要因を整理する。

(2) 対象事業が海生生物等に与える影響の検討

対象事業の実施が，当該海岸の海生生物に与える影響について検討を行い，改修後の護岸を生息場とする生物の予測とその効果、影響について検討を行う。また、既往の文献や専門家へのヒアリングを通して水鳥の飛来状況を整理・把握し、予測とその影響について検討を行う。

(3) 環境保全措置の検討

影響検討結果により，環境保全措置（モニタリング計画の策定等）の検討を行う。



<凡例>

- 底生生物調査測線 (各 700m)
- ▲ 潮間帯生物定量採取地点
(護岸壁面 高・中・低潮帯)
- 底生生物定量採取, 底質採取地点
(1 測線あたり 4 地点
護岸から 0m, 50m, 100m, 350m)